

春期管理捕獲について

(人里出没抑制等のための春期管理捕獲)

令和 5 年10月16日

北海道環境生活部自然環境局ヒグマ対策室

人里出没抑制等のための春期管理捕獲について（たたき台）

【目的】

< R 5 春期 >

○ 令和 5 年人里出没抑制等のための春期管理捕獲実施方針

1 「人里出没抑制等のための春期管理捕獲」について

人里出没抑制等のための春期管理捕獲は、近年、警戒心の薄いヒグマが人里に出没している状況を踏まえ、ヒグマに対して人への警戒心を持たせ、人里への出没を抑制するとともに、ヒグマ出没に対応できる熟練した捕獲従事者の減少及び高齢化に対処するため、ヒグマ対策に必要な人材を育成し、地域の危機管理体制の充実を図ることを目的としている。



目的をより明確にすることで、人里周辺での出没が問題になっている地域での実施を促す

< R 6 春期 >

○ 令和 6 年人里出没抑制等のための春期管理捕獲実施方針（案）

1 「人里出没抑制等のための春期管理捕獲」について

人里出没抑制等のための春期管理捕獲は、近年、人里周辺に生息・繁殖し又警戒心の薄いヒグマが人里に出没している状況を踏まえ、~~ヒグマに対して~~人里周辺において捕獲圧をかけ、低密度化を図り又人への警戒心を持たせることで、人里への出没を抑制するとともに、ヒグマ出没に対応できる熟練した捕獲従事者の減少及び高齢化に対処するため、ヒグマ対策に必要な人材を育成し、地域の危機管理体制の充実を図ることを目的としている。

【人里に隣接した区域の考え方】

< R 5 春期 >

市街地・集落もしくは農耕地など(レクリエーション等で人が日常的に利用する森林を含む)人の生活圏から概ね 3～5 km以内のエリア

- ・メスの行動範囲は40～45km²（直径7.6km）
 - ・雪解けが早い
- 出没抑制効果を考慮するともう少し広げるべきか？

(参考資料) 人里出沒抑制等のための春期管理捕獲の概要

【目的】

近年、警戒心の薄いヒグマが人里に出没している状況を踏まえ、ヒグマに対して人への警戒心を持たせ、人里への出沒を抑制するとともに、ヒグマ出沒に対応できる熟練した捕獲従事者の減少及び高齢化に対処するため、ヒグマ対策に必要な人材を育成し、地域の危機管理体制の充実を図る。

【概要】

- 許可申請者 市町村を基本（地元狩猟者は関係機関の合意が得られている場合に限定）
- 捕獲期間 2～5月（残雪期）
- 捕獲区域
 - ・市町村の区域を基本（複数市町村で共同して広域的に実施することを推奨）
 - ・**人里出沒抑制を積極的に行う場合は、許可申請時に「人里に隣接した区域」を示した図面を添付**

<人里に隣接した区域の考え方>

市街地・集落もしくは農耕地など(レクリエーション等で人が日常的に利用する森林を含む)**人の生活圏から概ね3～5 km以内のエリア**

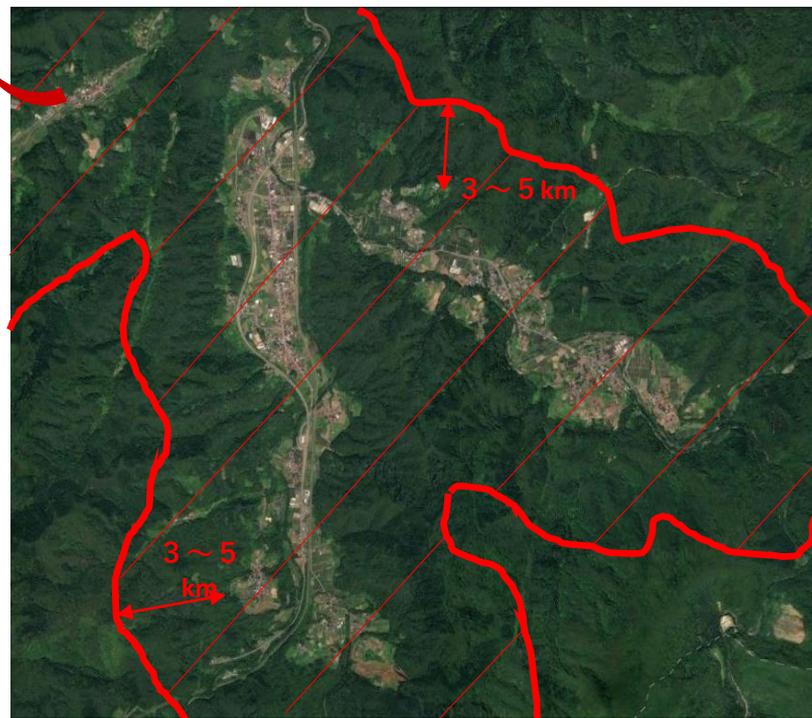
- 捕獲頭数 地域個体群毎に**上限捕獲頭数を設定**
- 捕獲方法 **銃器**
- 報告
 - ・捕獲した場合は、ヒグマ捕獲票を直ちに提出すること
 - ・捕獲期間終了後、速やかに出動日報を提出すること
- 捕獲にあたっての協力事項
試料の提出に協力すること
- その他
人里への出沒状況の変化について、効果の検証を行う

<イメージ>

人里周辺に生息・繁殖する個体の低密度化・警戒心の植え付けのため、積極的に捕獲圧をかける。

- ・ベテラン同士
 - ・親子グマ
 - ・穴狩り
 - ・鳥獣保護区
- 特に制約は設けない

人の生活圏から
概ね3～5 km



<参考>

- ・平成17年度（2005年度）から、ヒグマ対策に必要な人材を育成し、地域の危機管理体制の充実を図ることを目的に渡島半島地域保護管理計画に基づき「人材育成のための捕獲」を実施。
- ・上記については、平成26年度（2014年度）から、北海道ヒグマ保護管理計画に基づく「ヒグマ対策技術者育成のための捕獲」として継承。
- ・平成27年度（2015年度）から、全道を対象として実施。
- ・令和5年（2023年）から、人材育成と人里出沒抑制を目的に「人里出沒抑制等のための春期管理捕獲」として実施。